

—ニュースご掲載のお願い—

<一斉解禁日時：5/25(火) PM12:00>

監督：榊英雄(『アリーキャット』)最新作

安田顕×山田裕貴

映画「ハザードランプ」

追加キャストに松本若菜、中村 中、阿部純子
さらに、実力派俳優たちの豪華共演！

満月の夜には何かが起こる。

地方都市で“代行ドライバー”として働く男ふたりの一夜の物語。

<第二弾キャスト一斉解禁！&コメント到着>

平素より大変お世話になっております。

この度、地方都市で代行ドライバーとして働く男ふたりの一夜の心の交流を描いた『ハザードランプ』。『誘拐ラプソディー』(10)、『捨てがたき人々』(14)などの作品で注目を浴び、俳優としても活躍を続ける榊英雄監督が、『アリーキャット』の脚本家・清水匡と再びタッグを組み安田顕、山田裕貴を主演に迎えオール福井ロケを敢行した意欲作です。つきましてはこの度キャスト発表第二弾として、中村中、松本若菜ら8名を解禁致します。何卒本情報ご紹介下さいますよう、お願い申し上げます。



地方都市で代行ドライバーとして働く須貝(安田顕)。ある満月の夜に、新人ドライバー刈谷(山田裕貴)とタッグを組むことに。「——満月の夜には何かが起こる。実際に、女子中学生が誘拐されたのも、満月の夜だった!」。そんな同僚の言葉を背に仕事に向かう二人だったが、様々な酔客の相手をするうちに、思いもよらず過去が交錯していき……。

代行ドライバーという様々な客を乗せる仕事に焦点を当て、夜の町の人間ドラマと男ふたりの奇妙な関係と因縁を、監督：榊英雄×脚本：清水匡の映画『アリーキャット』コンビが完全オリジナルストーリーで映画化!

主人公・須貝に扮するのは演劇ユニット「TEAM NACS」

メンバーで、映画・ドラマ・舞台など数々の話題作に出演、硬派な役から個性的な役まで幅広く演じることに定評のある安田顕。その代行ドライバーの相棒として一夜を共にする刈谷役を、大好評のうちに終了したドラマ「ここは今から倫理です。」(NHK)に主演したほか多数の映画に引っ張りだこの山田裕貴が演じ、数時間のうちに変化していく男たちの物語に深みを与えている。

今回発表される第二弾キャストは合計8名。須貝の恋人・美乃梨役を**松本若菜**、須貝を突然訪ねてくる謎の人物・ズーコ役を**中村 中**、須貝と刈谷が働く代行運転会社の社長・黒沢役を**石倉三郎**が演じる。さらに、代行運転の利用客たちにも個性派俳優が集結。酔っぱらって須貝に絡んでくる女性客・佳菜子役には**阿部純子**、地元のスポーツ用品店店主・吉井役を福井嶺南出身の**大和田伸也**、彼に融資をしている銀行員・高木役に福井嶺北出身の**津田寛治**、同級生同士の飲み会帰りの客・富山役に**六平直政**、相田役に**金田明夫**がそれぞれ扮し、一癖も二癖もあるキャラクターで主人公ふたりの心の距離の変化に色を差している。

酔客を相手に交錯していく人間ドラマは、濃く、深く、そして時に滑稽で…地方都市の夜に浮き彫りになる男たちの物語に、どうぞご期待ください。

=====

コメント

▶松本若菜

念願の榊組、そして安田顕さん。

二つ返事でオファーを受けさせて頂きました。

脚本を読み進めていく中で、このハザードランプの世界から立ち去ってしまいたいような、ずっと居座っていたような不思議な感覚に陥りました。私にはない世界観にいる人物たちの中に上手く入っていけるのか戸惑っている反面、頭の中では既に芝居をしている自分がいたりもしました。

撮影は、寒い時期の福井県でした。

天気にも恵まれない日が続きましたが、晴れが必要とされるシーンでは、数時間晴れ間がのぞき、さらに雪が降るといふ奇跡的なことが起こりました。

撮影監督が信頼している早坂さんですので、そのシーンはきっと神秘的で素敵な映像になっていることと思います。

映画を観終わった後は、心にドーンと追突される感覚になるかもしれません。

クランクアップしてから何ヶ月も経った今でも、私の脳裏に音楽と映像とセリフが繰り返し流れているように、数日間は映像がビッシリと焼き付き、セリフが木霊し、そしてとある音楽が耳から離れなくなることでしよう。

忘れられない映画になってもらえたら嬉しいです。

(プロフィール)

1984年2月25日生まれ、鳥取県出身。07年の女優デビュー後、数多くの映画、テレビドラマに出演。主な映画出演作品に『駆込み女と駆出し男』(15/原田真人監督)、『無伴奏』(16/矢崎仁司監督)、第39回ヨコハマ国際映画祭助演女優賞を受賞した『愚行録』(17/石川慶監督)、『コーヒーが冷めないうちに』(18/塚原あゆ子監督)、『この道』(19/佐々部清監督)、『his』(20/今泉力哉監督)、『大綱引の恋』(21/佐々部清監督)など多数。

▶中村 中

『ハザードランプ』は「取り返したい」人たちの物語だと私は感じました。

10年程前、ミュージシャンの友人が、ほんの少し目を離していた際に愛用している楽器を盗まれました。未だ楽器は発見されず、友人はずっと気にかけていて、怒りと悲しみで疲れ果てています。その喪失感は一生涯癒えないかも知れません。脚本を読みながら、そんなことを思い出していました。

撮影は主に夜でした。

暗くて全貌の見えない若狭湾の波の音に、知らない街を訪れる肩身の狭さと、このまま帰りたくない心細さを煽られながら、私も取り返したいものがある人間を演じました。取り返したい人、取り戻したい時間がある人に観て欲しいです。

(プロフィール)

シングル「汚れた下着」(06)でデビュー。2ndシングル「友達の詩」(06)がヒット。同曲で第58回NHK紅白歌合戦に出場。最新作は9thアルバム『未熟もの』(20)。ハザードランプの音楽を担当する「和-IZUMI-」の橘いずみ時代のカバー「愛してる」を収録した『ベター・ハーフ』(17)も一聴の価値あり。作家として戸田恵子や大竹しのぶをはじめ多くの表現者に楽曲提供。役者としても舞台を中心に活動中。

▶阿部純子

オーディションを受けた時から、撮影が終わるまで、ずっと悩み続けた役でした。安田顕さん、山田裕貴さん、監督に、「ここまで来られるか！」と試され続けた現場でした。「ただ自分にできることをするだけだ！」と自らに言い聞かせて、がむしゃらにやりました。ちゃんと映像の中で生きていたら、いいな。みなさんにご覧頂ける日を、私も、ドキドキしながら一緒に待っていようと思います。

(プロフィール)

1993年5月7日生まれ、大阪府出身。10年に『リアル鬼ごっこ2』(柴田一成監督)でヒロインに抜擢され、女優デビューする。14年、『2つ目の窓』(河瀬直美監督)で主演を務め、第4回サハリン国際映画祭主演女優賞、第29回高崎映画祭最優秀新人賞を受賞した。近年の主な作品に『Daughters』(20/津田肇監督)、『罪の声』(20/土井裕泰監督)、『461個のおべんとう』(20/兼重淳監督)など多数。21年には『燃えよ剣』(原田真人監督/10月公開予定)が控えている。

▶大和田伸也

出演依頼があった時、私の故郷が舞台だと聞き、ぜひ参加しようと思いました。以前、私が故郷福井県を舞台に映画を撮った時、いわゆる嶺北が中心でした。今回は嶺南が中心だと聞いて、これまた、福井県のふるさと大使、敦賀市の観光特使の私としては、嬉しい作品になりました。撮影は、榊監督を中心に、とても熱く才能溢れる現場でした。

(プロフィール)

1947年10月25日生まれ、福井県出身。早稲田大学在学中に演劇を始め、「劇団四季」を経てNHK朝の連続テレビ小説「藍より青く」(72)で人気を博す。その後、「水戸黄門」(TBS)などのテレビドラマや映画『犬神の悪霊』(77/伊藤俊也監督、舞台「細雪」、「王女メディア」、ミュージカル「アニー」など数多く出演。13年には『恐竜を掘ろう』で映画監督を務めたほか、舞台演出やエッセイストとしても幅広く活躍している。

▶津田寛治

榊英雄監督が、僕の故郷である福井で映画を撮ると聞いて何とか参加したいなあと思っていたらお声をかけて頂きました。

僕の役どころは、主人公が働いている代行屋サービスを利用する酔っぱらったお客さんなんですが、もう一人酔っぱらったお客さんが…。なんと、福井の超巨星、大和田伸也さんです。もう、二人してアドリブの福井弁を喋りまくったので、乞うご期待！

(プロフィール)

1965年8月27日生まれ、福井県出身。93年に北野武監督作品『ソナチネ』でスクリーンデビューする。以降、『模倣犯』(02/森田芳光監督)、『トウキョウソナタ』(08/黒沢清監督)、『シン・ゴジラ』(16/庵野秀明総監督)、『名前』(18/戸田彬弘監督)など多数出演し、日本映画に欠かせない俳優の一人となる。また、自身の脚本・監督作『カタラズのまちで』(13)、『あのまちの夫婦』(17)が公開されるなど、多方面で活躍している。

▶六平直政

榊監督とは映画やドラマで一緒していて旧知の仲なので是非出演したいと思いました。

脚本も読んで金田明夫さんと同級生で同じ野球部の友人役でしたので是非明夫ちゃんと芝居をしたいと思いました。

撮影は監督が厳しくて中途半端なエネルギーの放出では許してくれず、最後は必死にやりました(笑)

お客様には是非観て頂いて率直な感想を言って頂きたいと思います。

(プロフィール)

1954年4月10日生まれ、東京都出身。劇団状況劇場を経て、新宿梁山泊の旗揚げに参加。86年に岡本喜八監督作品『ジャズ大名』で映画初出演する。以降、独特の風貌を生かして映画・舞台・ドラマと幅広く活躍中。近年の主な映画出演作品に『蚤とり侍』(18/鶴橋康夫監督)、『キングダム』(19/佐藤信介監督)、『ある町の高い煙突』(19/松村克也監督)などがある。

▶金田明夫

夜を徹しての撮影、普段なら床に入る時間に撮影真っ只中、みんなで集団夜更かし！

そして、人生で初めて深夜1時に夕飯休憩を経験。

楽しんでいたのは私だけか？

撮影終了後、宿に戻り朝風呂を堪能。

風呂に浸かりながら、この映画面白くなる！と、実感。

ああ、楽しかった！

(プロフィール)

1954年東京都出身。77年、演劇集団円会員昇格、TV、映画、舞台と幅広く活躍中。主な出演作品に舞台では「鴉外の怪談」(14/主演/二兎社)「くちづけ」(20/主演/タクフェス)、テレビドラマでは「3年B組金八先生」(95-11/TBS)、「科捜研の女」(13-/EX)など、映画では『月はどっちに出ている』(93/崔洋一監督)、『リップヴァンウィンクルの花嫁』(16/岩井俊二監督)、『Fukushima 50』(20/若松節朗監督)などがある。21年には『科捜研の女-劇場版-』(9月3日公開予定/兼崎涼介監督)が控えている。

▶石倉三郎

え?! このコロナ状況下で撮影できるのか?!と。

しかしロケ先様が快く受けてくださり、(ようし! こうゆう時こそ我等の出番!)ワクワクしましたね。プロデューサーもエライ!!

まあ一体に人間という生き物は難しい。只々平淡、平凡に生きることは。どんな人間にもドラマがあり、そこから派生する事項でまさかの結末に。

現場は本当にどこからくるかわからないコロナを非常に要心しながら、監督、スタッフ、キャスト…頑張りましたな。

面白い作品です!

何卒ご高覧の程、お願い申し上げます。

(プロフィール)

1946年12月16日生まれ、香川県出身。67年に東映に入社し京都撮影所の大部屋俳優として任侠映画等に出演。72年に東映を退社し、商業演劇に活躍の場を広げテレビドラマ、映画、舞台で活躍している。主な映画出演作品に『四十七人の刺客』(94/市川崑監督)、『座頭市』(03/北野武監督)、『相棒 劇場版II』(10/和泉聖治監督)、芸能生活50周年にして初主演を務めた『つむぐもの』(16/犬童一利監督)など。

=====

<物語>

とある地方都市。須貝は運転代行ドライバーとしてひっそりと暮らしていた。しかし、満月の夜に、その小さな町で女子中学生の連れ去り事件が発生。犯人が捕まらないまま迎えた次の満月の夜、新人の刈谷が入社し須貝とタッグを組むことに。「――満月の夜には何かが起こる」。そう囁く同僚の言葉を背に車に乗り込む二人だったが、一癖も二癖もある乗客たちを相手にするうち、お互いの過去が交錯していき…。

初対面の須貝と刈谷、二人の過去にはいったい何があったのか――。地方都市の夜に浮き彫りになる、男たちの人間ドラマ。

=====

安田 顕 山田裕貴

松本若菜 中村 中 阿部純子 山野 海 佐々木春香 ミスターちん

辻 凪子 溝口琢矢 永島聖羅 遠藤雄弥 真魚 丸本 凜 森岡 豊 長岩健人

大和田伸也 津田寛治 六平直政 金田明夫 ・ 石倉三郎

監督：榊 英雄 脚本：清水 匡 音楽：和 (IZUMI)

=====

製作：東映ビデオ UNITED PRODUCTIONS 配給：東映ビデオ 制作プロダクション：UNITED PRODUCTIONS

©2022「ハザードランプ」製作委員会 公式サイト：hazard-lamp.com

2022年 全国公開

【パブリシティお問い合わせ】

<紙・電波>祭屋 (宮田) 090-8109-6168 miyadashi.matsuri@gmail.com

(加藤木) 090-1110-6339 nudsad4646@gmail.com

<WEB>佐々木紀子 TEL 090-6675-0927 noriko.sasaki1208@gmail.com

【配給お問い合わせ】 東映ビデオ株式会社 配給宣伝室 (丸山) tel: 03-3545-4526